

モーツァルト室内管弦楽団

第156回定期演奏会

〈クリスマスにお贈りするモーツァルト名曲集〉

モーツァルト *W.A. Mozart*

ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調 K.219《トルコ風》

ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488

交響曲 第40番 ト短調 K.550

指揮◆門 良一

開演10分前より指揮者によるプレトーク有

ヴァイオリン◆佐野 智子

*Ryoichi Kado &
Tomoko Sano, Kyoko Ito
mit dem Mozart-Kammerorchester*

ピアノ◆伊藤 恭子

2013.

12/21 (土) いずみホール

2:00pm開演(1:30pm開場)

入場料：一般 ¥5,000(指定席) / 学生 ¥1,000(当日限定数発売)

*小学生よりご入場いただけます。

JR環状線「大阪城公園」駅から徒歩3分、「京橋」駅から徒歩7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から徒歩5分。
有料駐車場完備

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.hi-ho.ne.jp/mozart/> 協賛◆いずみホール (一般財団法人 住友生命福祉文化財団)

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 〒530-0041大阪市北区天神橋2-5-25-909 e-mail:artists@gol.com

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188 チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:212-394)
ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:55229)

※当日会場では大阪ユニセフ協会を通じて、東日本大震災被災地の子どもたちのために募金活動を行います。

クリスマスにモーツァルトを！

クリスマスに最もふさわしい音楽、それはモーツァルトではないでしょうか。

43年間モーツァルトを演奏し続けてきたモーツァルト室内管弦楽団が、選りすぐりのモーツァルトの名曲をあなたにお贈りします。「モーツァルトの調」といわれるイ長調の名曲が2曲、ヴァイオリン協奏曲第5番とピアノ協奏曲第23番の2大コンチェルト。それに「モーツァルトの宿命の調」といわれるト短調の極めつけの名曲、交響曲第40番です。この3曲による極上のプログラムのコンサートで2013年のクリスマスをお楽しみください。

モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、40年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に16回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シブリアン・カツァリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シテオペラとの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を、また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を開催している。

佐野智子●ヴァイオリン *Tomoko Sano, Violin*

大阪YMCAインターナショナル・ハイスクール卒業後、渡英。英国王立音楽院(RAM)にて Bachelor of music in performance 及び Postgraduate Diploma in Performance の両コースを修了。スカラシップ及び G.White Awardを受賞。在学中は校内外でソロや室内楽などの演奏活動を行う。また、Sir. コリン・デイヴィス他、著名指揮者のもとオーケストラの団員として活躍し、02年にはアシュケナーズ指揮フィルハーモニアの一員として演奏する。04年帰国。06、08、10年リサイタルを開催。06、09、11年モーツァルト室内管弦楽団、07年関西フィルハーモニー管弦楽団と協演。また、いずみホールにて「サマーミュージックフェスティバル大阪2009」、「デュオフェスティバル2013」に出演。これまでに、島 暢子、篠崎至佐子、辰巳明子、徳永二男、J.ハーヴィ、N.ミラーの各氏に師事。室内楽をH.デイヴィス、M.デュセック、A.ウエスト、S.ニッセル、H.ローデの各氏に師事。日本演奏連盟会員。

伊藤恭子●ピアノ *Kyoko Ito, Piano*

東京藝術大学付属音楽高校を経て、東京藝術大学音楽学部ピアノ科卒業。76年よりリサイタルを開催し、回を重ねる。79年にはワイマール夏期講習会でウェバジンケ教授の指導を受け、修了演奏会に出演。オーケストラとの共演は、テレマン室内管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、大阪シンフォニカー交響楽団(現 大阪交響楽団)、ブルガリアから来日したトレブーヒン室内オーケストラ等と数多くのコンチェルトを演奏。最近では、10年金洪才指揮/関西フィルハーモニー管弦楽団とショパンのピアノ協奏曲第1番を協演する。また、元スロヴァーク・フィルコンサートマスター、ワルシャワ・フィルコンサートマスター、キエフ・リセンコ弦楽四重奏団とピアノ三重奏・四重奏で共演。その他、声楽リサイタルの伴奏やピアノアンサンブル等、幅広い活動を行っている。日高登美子、藤原千代子、田村宏の諸氏に師事。2013年3月まで大阪音楽大学教授として永年後進の指導にあたってきた。日本ピアノ教育連盟会員。